

男性の育児休業取得促進事業（イクメンプロジェクト）

■「イクメンプロジェクト」とは（H22年度から実施）

- 積極的に育児をする「イクメン」及び「イクメン企業」を周知・促進するプロジェクト（H22年度から実施）
- 企業・個人に対する仕事と育児の両立に関する情報・好事例等の提供や経営者・人事労務担当者や若年層向けセミナーの開催等により、男性の育児休業取得等に関する取組を促進する。



■「イクメンプロジェクト」のねらい

- 男性の育児休業の取得や育児短時間勤務の利用を契機とした、職場内の業務改善や働き方の見直しによるワーク・ライフ・バランスの実現
- 男性の育児に参画したいという希望の実現や育児休業の取得促進、女性の継続就業率と出生率の向上

令和3年度活動案

1 周知・啓発活動

- ・ 配偶者が出産を控えた男性労働者等に対し、市町村の母子保健窓口や両親学級でのリーフレット配布等により、育児休業の目的や意義を周知する。
- ・ 男性の育児休業等の取得を促進するキャンペーン（若年男性や育児期男性をターゲットにした雑誌とのタイアップ記事・ポスター作成・配布等）を展開する。
- ・ 改正育児・介護休業法案が成立した場合、改正内容を周知するセミナー・シンポジウム等による周知活動を展開する。

2 セミナー等による企業への働きかけ

- ・ 男性の仕事と育児の両立等に関する理解を深めるため育児期前・育児期の労働者を対象としたセミナーを開催するとともに、企業内での両親学級の取組を推進するため、研修教材等を提供する。
- ・ 中小企業等において、男性の仕事と育児の両立等に関する研修を実施できるよう経営者・人事労務担当者等を対象とするセミナーを開催するとともに、研修教材を提供する。

3 「イクメンプロジェクト」公式サイト¹の運営等 <https://ikumen-project.mhlw.go.jp/>

- ・ 企業の好事例集やパンフレット等関係資料の作成・掲載、仕事と育児の両立体験談の掲載、自治体の取組情報の収集・発信等により広く情報提供を図る。

4 イクメンプロジェクト推進委員会の設置・運営

- ・ 有識者等による「推進委員会」を設置し、プロジェクトの内容・実施方法について協議する。

数値目標

★ 男性の育児休業取得率7.48%(2019年度) → 13%(2020年)・30% (2025年)